

平成 25 年度 事業 報告 書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
こどもプロジェクト

1. 事業の成果

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災から 3 年経ったが、福島を除染は効果が少なく、すべての地域が帰還できる状況にはいたっていない。その中で国や福島県の方では帰還支援が進んでいるため、県外避難者支援は、助成金獲得等資金調達が少し厳しくなってきた。月 2 回の学習支援は千代田区に加えて中野区が始まり、月 1 回のレクリエーション、母子英会話サロンなどを定期的開催、また啓発シンポジウムを年 2 回開催、避難母子向け中国料理教室も昨年に引き続き開催した。これらの継続的な活動の中で、避難された家族と福島県に残った家族との分断がさらに明らかになり、また東京における県外避難者の支援の格差も地域別課題としてあげられた。11 月の第 2 回となる明治神宮外苑の野球場に福島の子どもたちと東京に避難中の子どもと家族を 170 名招待して開催したベースボールチャリティは、前年度と違った手づくりのものだったがなかなか好評で、NHK やフジテレビのニュース、又新聞 4 社にも取り上げられた。福島県の帰還支援事業「ほんわか広場中国料理教室」は、NHK から取材を受け、「ゆうどきネットワーク」で 8 分にわたり全国放映された。長野県上田市に土地の提供を受けて福島の子ども達の滞在施設を企画し、今後の保養の充実を促進するビジョンを持ってプログラムを開発し来年度につなげていきたい。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報通信ネットワーク構築事業	こどもプロジェクト HP, メールマガジン	平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで	東京都内	2 名	子育て支援者、当事者 10,000 名	100
講演会事業	福島からの母子支援ネットワークシンポジウム	平成 25 年 11 月、26 年 3 月 計 2 回	東京都内	40 名	NPO、メディア、当事者 100 名	600
子どもの居場所作り・奉仕体験事業	福島自主避難こども学習支援、レクリエーション、サロン	平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで	東京都内	50 名	当事者約 60 人	12,900
次世代育成支援対策推進事業	福島からの母子の食育	平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで	東京都内	5 名	当事者約 250 人	473
ホームページなどの運営	こどもプロジェクト HP にて子育て支援情報を提供	平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで	インターネット上	3 名	利用者・一般 5,000 名	100

(2) 営利活動に係る事業

なし